



国際ロータリークラブ第2670地区徳島第2分区
美馬ロータリークラブ週報

2010年11月30日 火曜日 Vol.220

第2670地区ガバナー亀井義弘氏公式訪問例会

- 例会出席者 24名(会員総数31名) 出席率 77.4%
- メーキャップ ありません
- ビジター 亀井義弘ガバナー、片山朝生ガバナー補佐、泉川考三地区幹事(松山RC)
- 会長挨拶 広川 公利 会長

本日の例会は 亀井義弘ガバナー、片山朝生ガバナー補佐、泉川考三地区幹事をお迎えしての例会です。

亀井ガバナーより卓話をいただけますので楽しみにしててください。

back to basics (原点に返れ) 美馬RCは今後も一業種一名を基本として会員の増強をしたいと思えます。ご指導を宜しくお願いいたします。

■ 幹事報告 田中 義美幹事

到着書類

- ・脇町ロータリークラブから週報が届いています。

連絡事項

- ・先ほどガバナーより励ましのお言葉をいただきました、これを糧として12月からも頑張りますのでよろしくお願いいたします。

■ ガバナー公式訪問

○松山ロータリークラブ、美馬ロータリークラブガバナー交換から例会が始まりました。

○第2670地区2011-2012年度ガバナー美馬氏から森会員に、ガバナー補佐、ロータリー情報委員会コーディネーター、会員増強維持退会防止委員を委嘱されました。

その委嘱状を片山ガバナー補佐より授与されました。

○亀井ガバナー卓話(抜粋)

33歳で松山RCに入会したとき最高年齢は93歳、若い人で出先機関の支店長さんが40代会員数は50名くらいでした。ロータリーのバッチを付けている会社は倒産しないと当時は言われていました。ポール・ハリスは「人との交流が大好きだ、とくにロータリアンとの交流が大好きだ、なぜなら厳選された人たちの集まりだからと言いました。」東京RCを作った米山梅吉は「例会では会話と親睦を通じてお互いが切磋琢磨して自分の教養、品性、職業倫理感を高め、まさしく例会場は人生道場である。」と言っています。また、永平寺を造られた道元禅師は随聞記の中でこのように述べています「私が霧の中を歩くと覚えざる如く衣が湿っている。私が良き人たちの中に入っていくと知らない間に私は良き人間に変わっている。」

本物の人間とは、私は立派な人と思っていますが、論語の中では、仁徳のある、自分の利益より道義を重んじ、自分の事より他人のことを先に考える人を本物の人間と言っています。ああまさしくロータリーとはそういう人たちの集まりなんです。霧で私の体が湿っていくように、立派な方の後姿を見ながらいろんなことを教わりました。おかげで私の人生は豊かです、幸せです。皆さんもそのようになってください。

○出席者全員で記念写真を取り終了

■ 委員会報告

ありません

■ ニコニコ

亀井義弘ガバナー、片山朝生ガバナー補佐

長浦会員…パルシーの店舗が二階から一階に移りました、営業は12月4日からします
のでよろしくをお願いします。

■ 欠席者

七田、千葉、戸島、藤野、山内、山口、小野 各会員メイクアップをお願いします。

■ 次回例会

2010年12月7日(火) 18:30より レストラン西岡